



町長の重点施策は

大山二郎 議員

子育て支援と雪対策

町長

町長のビジョンは

町の将来をどう考え、予算にどう反映しているか。また、優先順位は。町長 町民目線でまちづくり、町民と常に対話をもち、行政と町民が協働で作り上げる町を目指す。また、中期的な計画については振興実施計画に明示している。

優先順位の問いに、子育て支援と雪対策と言うが、具体的には。

町長 子育て支援は高校生までの医療費無料化。雪対策は地区の高齢者宅の除雪を、小型除雪機を持つている人が除雪するといった共助の仕組みを

築いていきたい。

大石田保育園やあつたまりランド、給食センター等の民間委託の考えは。

町長 それぞれの果たしている役割に違いがあるので一概には言えない。常に視野に入れて検討していく必要がある。

国の諸問題について

インフルエンザの予防注射補助は、対象期間を12月末から、1月末まで延ばすべき。

町長 そのように考えている。

空き家対策の具体策として①リフォームして移住者を募る。②テレワーク



活用が期待される空き家(本町地内)

商業対策について

町の商業指導育成とは。町長 商工会や金融機関

起業やベンチャー企業を誘致する。③民宿経営希望者を募集する。このようなことを実行すれば、人口減少対策にもつながるのでは。

町長 提案された事業を参考に、空き家バンクを活用し、事案により個別に対応していく。

と連携した支援体制により、既存企業の体質強化を促進したい。

建設土木業者の指導育成は、仕事の実績を上げ、県の経営事項審査のランクを上げ、他地区の入札にも参加できる力をつけること。地元の仕事は単独できないとき、大手と組ませて仕事ができるようにすることなどが町の指導育成と思うが。

町長 できることはやっていきたい。

町道大浦2号線

改良工事完成!

平成23年2月大浦区長と公民館長連名で当時の小林議長宛てに道路改良を求め、除雪に苦勞していたが、この改良により公民館までスムーズに行き来できることになり、地区民にも町民全体にとっても利便性のアップにつながった。

以来、町と地区との話し合いを重ね、9年ほどの歳月が過ぎ、ようやく令和元年9月20日に完成となった。工事期間は令和元年6月24日から9月20日まで。費用は約890万円。延長765mの工事となった。

とりわけ冬期間は道が狭く、除雪に苦勞していたがこの改良により公民館までスムーズに行き来できることになり、地区民にも町民全体にとっても利便性のアップにつながった。

町内にはまだまだ不便な箇所がある。今後も解消に向けて努めていかねばならない。

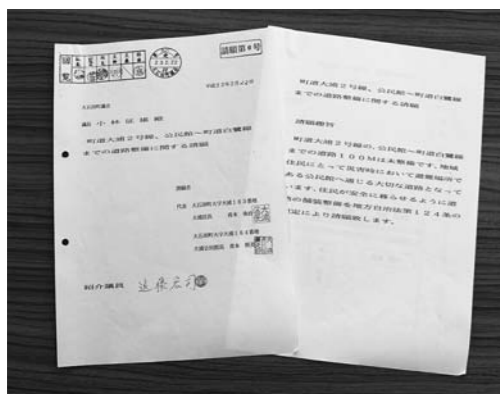
【記 小玉】



こんなにきれいになりました(大浦地内)



改良前の状況



大浦地区からの請願書(H23. 2)